

団体名	「空色の会」～JR 福知山線事故・負傷者と家族等の会～
活動テーマ	「4・25 あの日を忘れない」 ～被害者の真の回復と、事故の風化防止、安心して安全な公共交通機関の実現を願って～

<p style="text-align: center;">「空色の葉 (しおり)」 (第5回) の配布</p> 	<p style="text-align: center;">「メモリアルウォーク」 (第4回) の実施</p> 
<p style="text-align: center;">「勉強会」 (3回) の開催</p> 	<p style="text-align: center;">「健康相談会」 (第1回) の実施</p> 

- ・継続的な「草の根」の活動で、事故の風化防止や、安全で安心できる公共交通機関の実現を！
- ・公共交通機関の大規模事故の被害者（負傷者）支援として、「健康相談会」などの取り組みを！
- 「空色の葉 (しおり)」 (第5回) : 2005年4月25日に起こった列車事故の風化防止と、安全で安心な公共交通機関の実現を願って、4月25日を迎える頃に書店や駅近辺で、メッセージの入った「葉」を配布する活動を継続した。2013年は8,000枚制作して、4月25日を迎える時期以外にも、年間通じて各所で活動する際に、手から手へと「葉」を配って啓発に努めた。
- 「メモリアルウォーク」 (第4回) : 事故沿線（事故現場・献花台を含む）を一般参加者も一緒に歩く活動の第4回目を2013年4月21日に実施した。今もって電車に「乗る」ことが苦痛だったり困難な被害者にとっては、沿線を「歩く」ことが心的外傷の軽減の一助ともなり、その回復に寄与できた。今後も継続していくことで事故への社会的関心の裾野を広げていきたい。
- 「勉強会」 (3回) : 負傷者の症状固定後の外傷後後遺障害の疼痛への対処法として「セルフケア」や「家族によるケア」について学ぶ勉強会と、「ヒューマンファクター」「ヒューマンエラー」について学ぶ勉強会を実施した。この学びを基に、以下の「健康相談会」を実施した。
- 「健康相談会」 (第1回) : 大阪大学大学院医学系研究科の生体機能補完医学講座で取り組まれている補完代替医療のプロジェクト (CAM「カム」 <http://osaka-cam.jp/>) に参画しておられる鍼灸専門家の協力も得て、①主にメンタル面からの聞き取りと、②症状固定後の外傷後後遺障害の疼痛への対応として鍼灸の施術を組み合わせた「健康相談会」を実施した。今後、この実施主体について検討していきたい。

<様式3-2>